

# ぱれっとスタッフによる 福祉用語解説

## ●地域での一人暮らしを支えるサービス

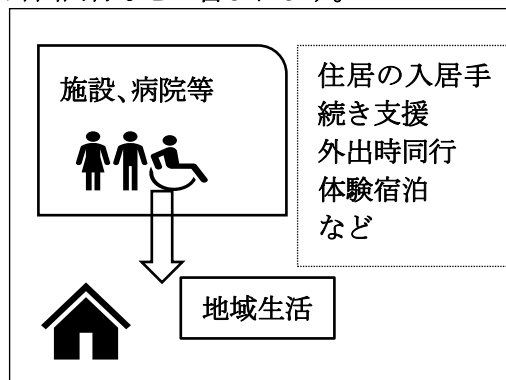
障がい者の方が施設や病院、グループホームから退院・退所して一人暮らしをすることになった場合、困ったことがあっても相談できるような環境が必要です。今回は障がい者の地域移行と地域生活を支える以下の3つのサービスについてご紹介します。

- ①地域移行支援
- ②地域定着支援
- ③自立生活援助

言葉だけみるとどれも似たような意味合いに捉えられそうですが、内容がそれぞれ異なります。どのような違いがあるのでしょうか？

### ●それぞれのサービスの意味

①地域移行支援:入所施設、精神科病院、保護施設、矯正施設に入所・入院している障がい者等を対象に、退所・退院にあたってスムーズに地域生活へ移行するための支援を行ないます。住宅の確保、障害福祉サービスの体験利用(グループホーム等)、外出同行などが含まれます。

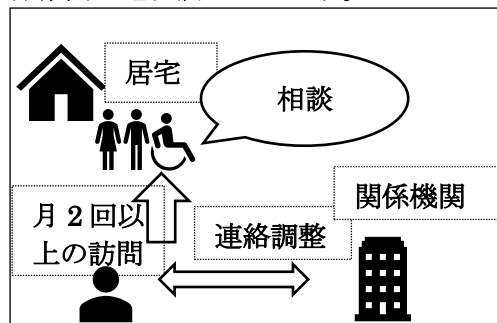


②地域定着支援:居宅において単身で生活している障がい者等を対象に、24時間365日の相談対応や、緊急時の訪問を行ないます。単身者だけでなく、家族による緊急時の支援が見込めない状況にある方も対象です。

ぱれっとの職員による「福祉用語解説」。第4回は、名前が似ているけど意味が違う、障がい者の地域生活を支える3つの福祉サービスについて取り上げます。



③自立生活援助:地域定着支援の見守りと緊急時対応だけでは地域生活を続けるのが大変という声もあり、2018年に新設されました。グループホームや施設、病院から退所・退院した障がい者等を対象に、定期的に訪問し支援を行ないます。例えば家事に課題はないか、支払いの滞納はないか、通院の状況、地域住民との関係等について確認し、必要に応じて関係機関と連絡調整をします。



### ●地域生活に向けたサービスの重要性

地域移行支援、地域定着支援、自立生活援助についてそれぞれ内容が混同されがちですが、まったく異なることが調べて分かりました。実際に利用する際は3つを組み合わせることも可能です。これらのサービスが、本人が望む自立を実現できる仕組みとなっているかきちんと吟味される必要があると思います。

(しづや・ぱれっとホーム 飯山直子)